

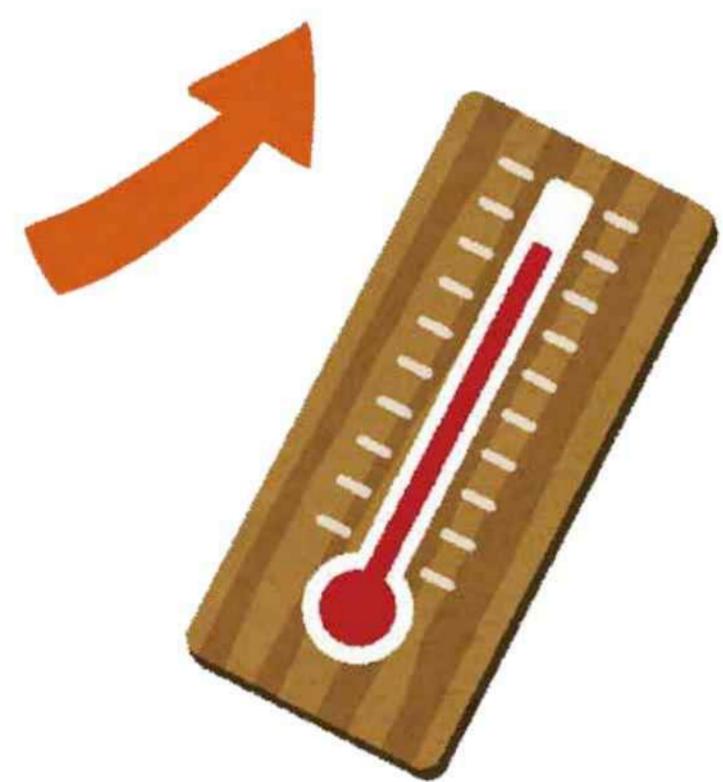
てきおうさく 適応策にはどんなものがあるの？

きこうへんどう
気候変動から社会やくらしを守るために「適応策」としては、**気候変動でどんな影響が出るかを考え、それに対して、あらかじめ対策を取ることが大切じゃ。**
えいきょう
ここでは、代表的な気候変動の影響と、その影響に対する「適応策」を見てみよう。



気候変動

気温の上昇



雨の降り方の
変化

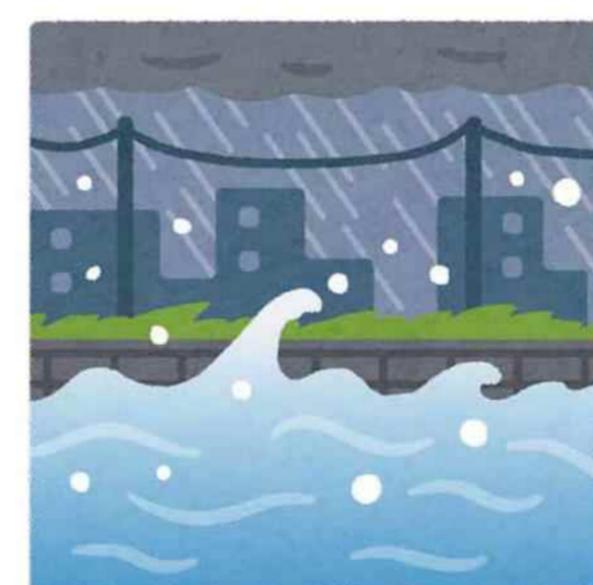


気候変動 の影響

やさい くだもの
野菜や果物などが
取れにくくなる



大雨が増える



熱中症の増加



生態系への影響



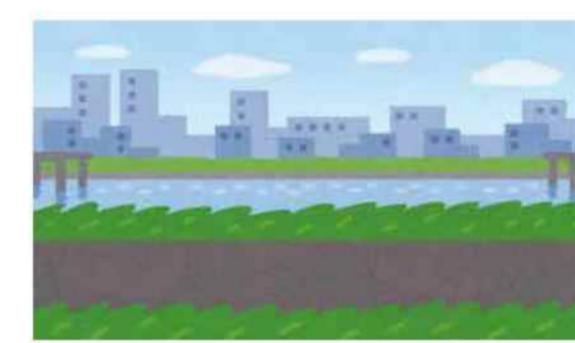
サンゴの白化

適応策

暑さに強い野菜や
果物の研究



さいがい
災害対策



河川整備



事前準備

ねっちゅうしう
熱中症対策



保冷剤、氷、冷たい
タオルなどで
体を冷やす

かんきょう
環境の保全・再生



サンゴの植え付け

私たちにできる「適応策」ってなんだろう? ～健康問題の観点から～



健康を守るために、私たちができる「適応策」を考えてみよう。

気候変動で気温が上がることで、熱中症の危険性が増したり、

熱帯性の感染症が広がる可能性があるんじや。

そうならないために、どんなことに心がけたらいいんじやろうか?



熱中症予防のためにには?

熱中症は、暑い中での作業や運動で体温がうまく調節できなくなり、体の中の水分や塩分のバランスが崩れることで発症します。

真夏日や熱帯夜は年々、増えていっていますので、「これまで大丈夫だったから」と油断せずに、こちらのチェックリストなどを参考に、熱中症対策に取り組みましょう。



出典：環境省

熱帯性の感染症に気をつけよう！ 注意

「蚊」は感染症の原因(ウイルスなど)を運ぶので、気候変動で気温が上がると、「蚊」が活発になることで過去に起きた感染症が再び広まったり、外国から「蚊(ネッタイシマカなど)」がやってきて熱帯性の感染症を広める可能性があります。

そのため、「蚊」を発生させないこと、そして「蚊」に刺されない工夫が「適応策」として大切です。

●蚊を発生させないためには？

感染症を保有する「蚊」は、植木鉢の受け皿や空き缶などにたまつたほんのわずかな水に産卵します。そのため、普段から身の回りを点検し、「蚊」を呼び寄せないような環境づくりをすることが重要です。

●蚊に刺されないためには？

「蚊」に刺されないような工夫をすることも重要です。長袖・長ズボンを着る、虫除け薬をこまめに塗ったり、蚊取り線香を使ったりするなどの対策も有効です。



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



出典：厚生労働省



私たちにできる「適応策」ってなんだろう? ～災害対策の観点から～



さいがい
災害に対し、私たちができる「適応策」について考えてみよう。

ごうう　ふ　すいがい
気候変動によって雨の降り方が変わることで、豪雨が増え、水害や土砂災害が増える可能性がある。

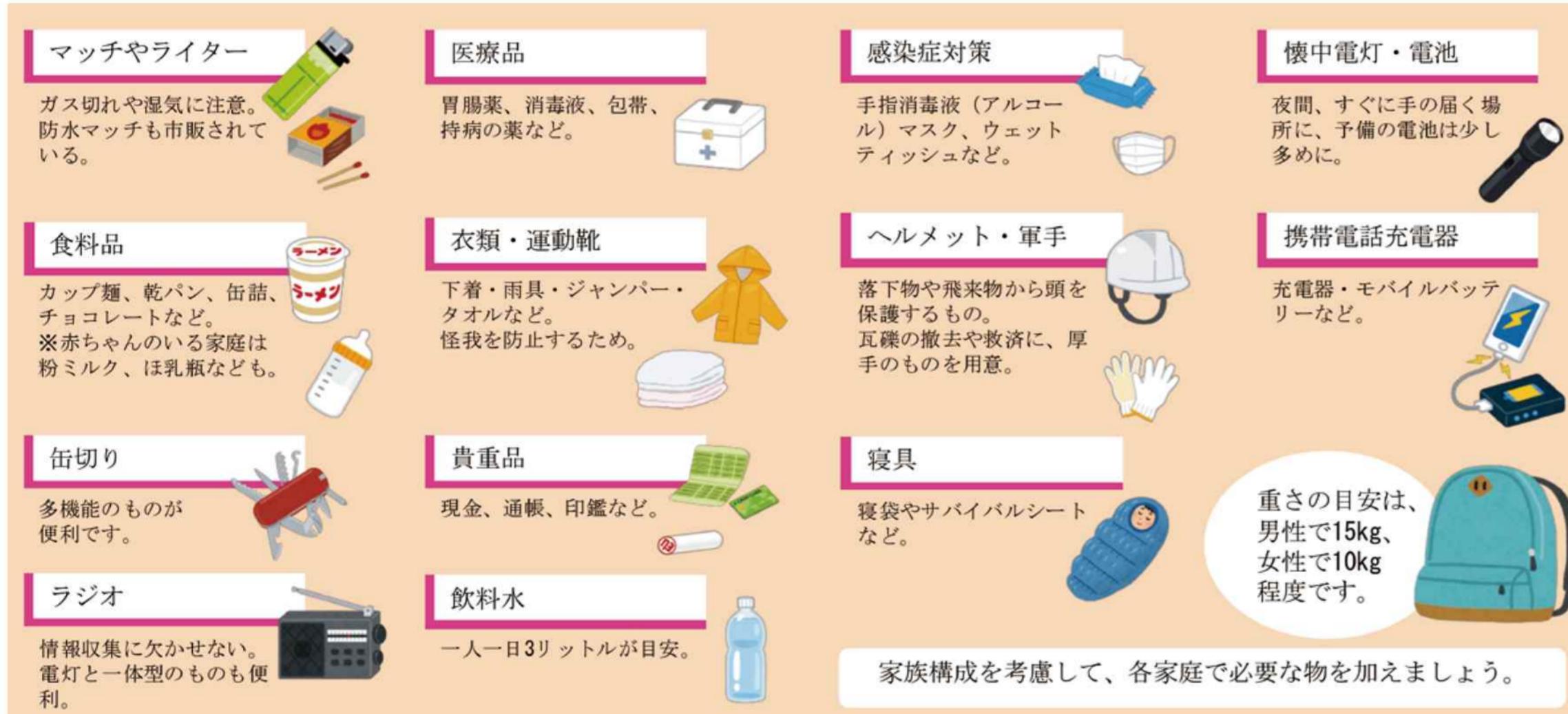
そな
災害への備えとして、どんなことに心がけたらいいか考えてみよう。

災害対策には、事前の備えが大切です。

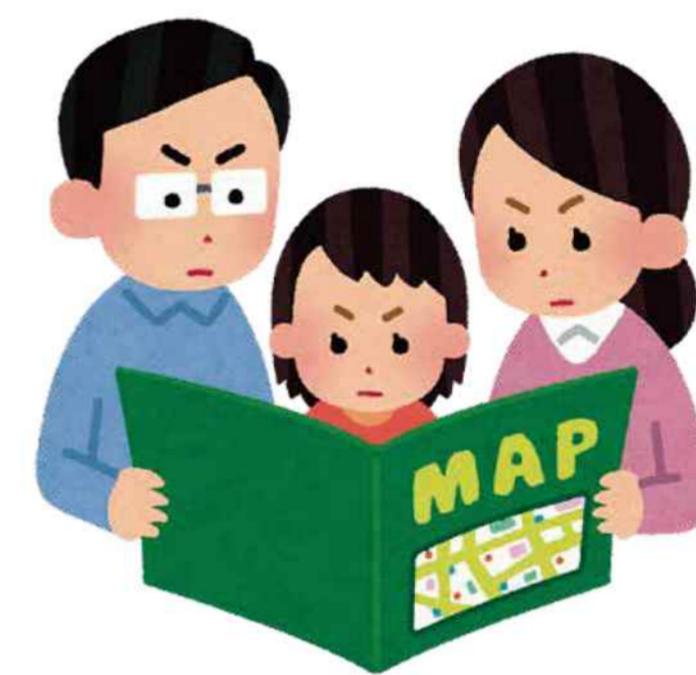
これまでに災害がなかったような場所でも油断せず、災害が起きたときに、すばやく対応できるよう、どんなものを準備しておいたらいいか、どんな行動を取るべきか、家族で話し合っておきましょう。

事前の準備

★こちらのリストを参考に、防災グッズを備えておきましょう。



★ハザードマップなどを
ひなん　そだん
見て、避難方法を相談し
ておきましょう。



災害時の行動

★身の危険を感じたら、すぐに近くの安全な場所(学校、

公民館、ホテルなど)に避難しましょう。

★避難指示等発令時に市町村が開設する公民館や学校へ早めに避難しましょう。

★移動の余裕がない時は、近くの高い建物に避難する。

★夜間で屋外への避難が困難な時には、自宅の2階へ避難しましょう。

※避難に当たっては、住んでいる場所や建物の強度、時間帯や気象条件などで取るべき行動が異なるので、災害から命を守るために、個々の事情にあつた行動を心がけましょう。



出典：内閣府

■沖縄県防災情報ポータルハイサイ！防災で～びる

県民・観光客に向けて防災メールを配信しています。QRコードを読み込み登録してみましょう。





てきおうさく 沖縄県内ではどんな「適応策」が取り組まれているの？

きこうへんどう
気候変動から社会や暮らしを守るために、県内では色々な「適応策」が取り組まれておる。
ちなみに、すでに取り組んでいることが、「適応策」につながっていることが多いんじゃ。
ここでは、その一例を紹介するぞ。



農業分野での技術開発

気候変動に適応した果樹の新しい品種・品目を作るための技術開発、新たな栽培技術や優良品種の開発を行っています。



パイン新品種「沖農 P19」



アセロラ品種
「レッドジャンボ」



ドラゴンフルーツ 品種
「インパクトルビー」



パッションフルーツ
品種育成



シークワーサー 品種
(上:仲本シードレス 下:大宜見クガニ)



マンゴー栽培試験



マンゴー品種育成

出典：要覧 沖縄県農業研究センター

こうずいひがい 洪水被害防御のための河川整備

これまでも災害対策として、洪水の被害から家などを守るために河川の整備を行っていますが、気候変動により災害が増えていくと予測される中、このような対策が適応策につながります。



比謝川の河川整備

出典：沖縄県における水害土砂災害対策等の当面の進め方
令和2年8月 総合流域防災協議会（沖縄総合事務局・沖縄県）

ねっちゅうしょうけいかい 熱中症警戒アラート

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性がとても高くなるときに、国が暑さへの注意を呼びかける情報のことです。沖縄県でも、熱中症にならないよう、様々な情報を発信していますので、ウェブサイトを確認してみましょう。



詳しい情報は
こちらから

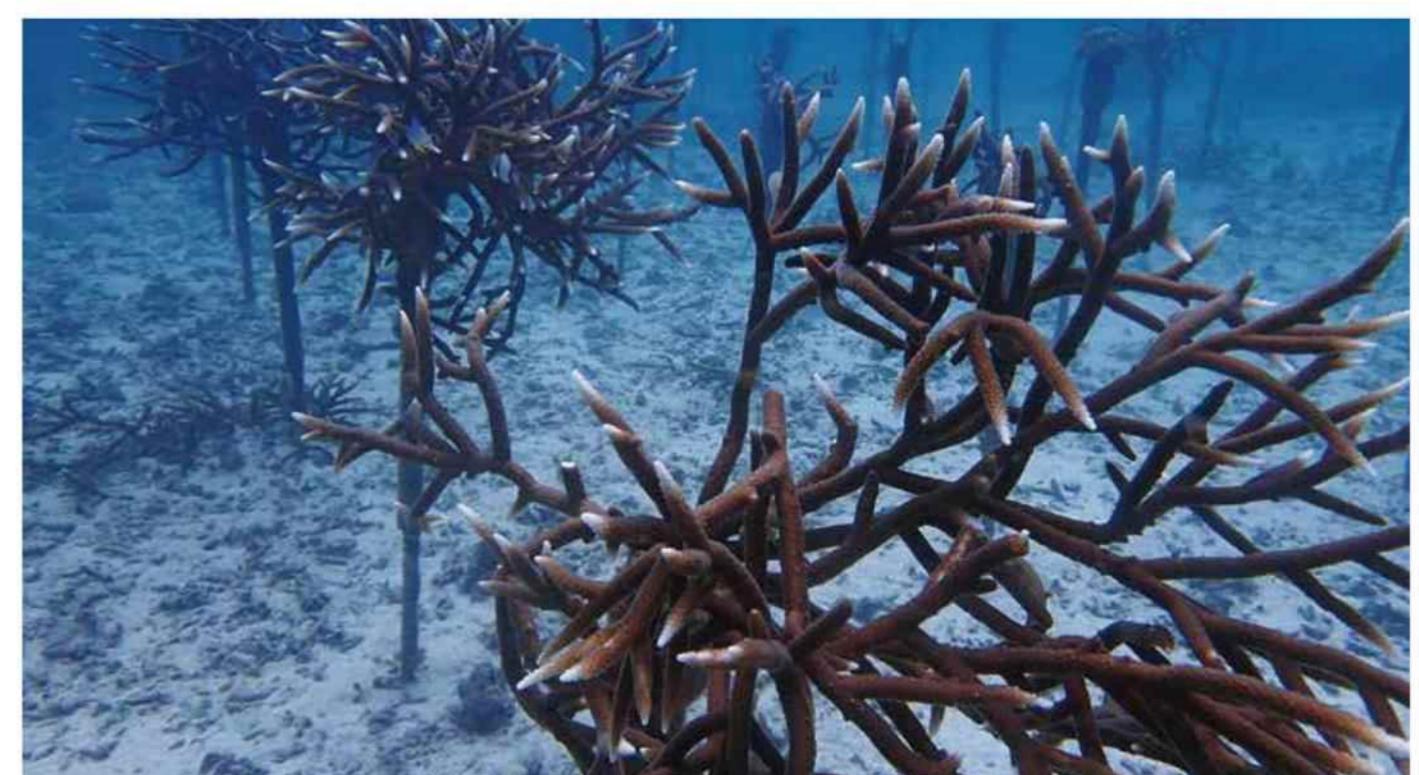
沖縄県
熱中症情報



出典：環境省、気象庁

サンゴの保全・再生

気候変動で赤土が多く流出したり、水温が高くなることで、サンゴが失われることが予測されていることから、サンゴの保全・再生のための調査研究を行っています。



恩納村漁業協同組合の管理するサンゴ養殖場

出典：沖縄県環境部

皆さんも、日々の暮らしの中で、身の回りの自然や生きものの変化に注意したり、これまでの経験にとらわれない熱中症対策や防災対策に取り組んでみましょう！また、気候変動が社会や暮らしにどんな影響ができるか考え、私たちの暮らしを守るために、どんな対策が必要になるのか考えてみましょう！





きこうへんどう
クイズ

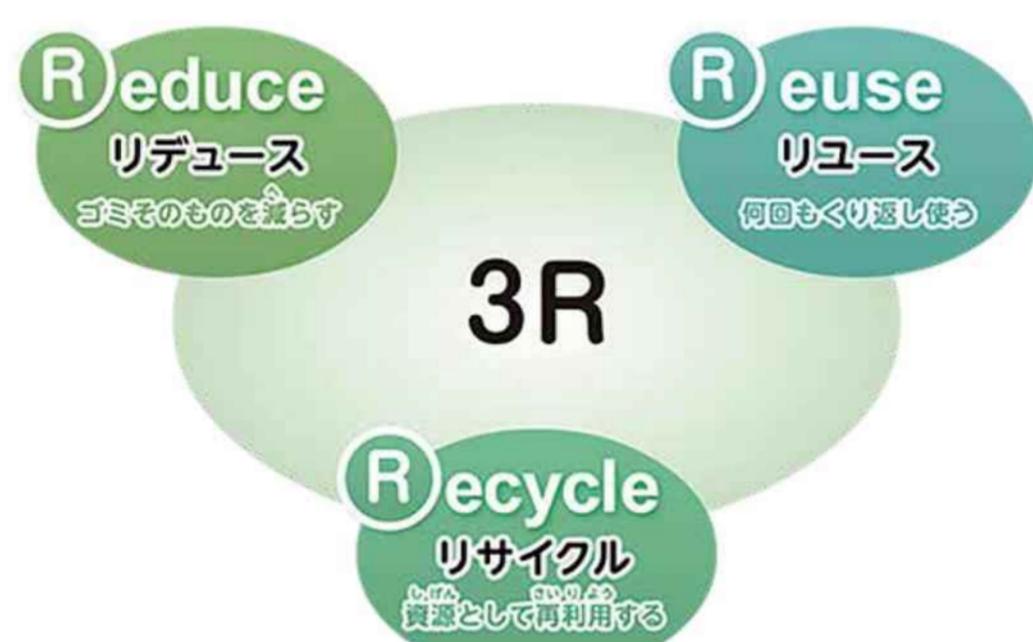
気候変動 Quiz



問①

この中から緩和策(温室効果ガスの排出を減らすこと)に関する取組をすべて選んでください。

- A 人がいない部屋でも電灯やエアコンをつけっぱなしにする
- B 自転車やバス、モノレールを利用する
- C 再生可能エネルギー(太陽光発電など)を利用する
- D ごみを減らすための3Rに取り組む



問②

この中から適応策(気候変動からの被害を防ぐこと)に関する取組をすべて選んでください。

- A 熱中症に備えて対策(水分・塩分補給など)を行う
- B 熱くても節約のためにエアコンや扇風機を使わない
- C 蚊をできるだけ発生させない
- D 水害や土砂災害に事前に備えておく



ダメ!



答え

問① B C D 問② A C D